# 令和元年度予算進捗状況及び令和2年度予算(案)概要

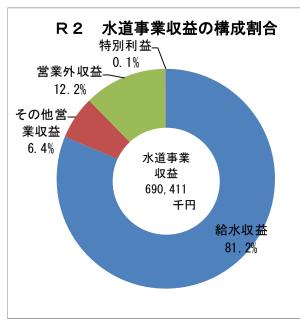
# (1) 収益的収支

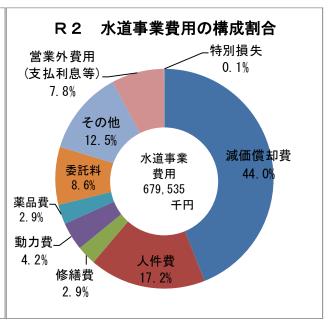
令和元年度については、当初予算から比較し、収益は給水収益の減少が見込まれ、また、長期前受金戻入の減少により8,600千円減となる見込みであり、費用については退職給付費、減価償却費等の減少により23,313千円減となり16,965千円の純利益を見込んでおります。

令和2年度については、料金改定による給水収益の若干の増加が見込まれ、費用では退職給付費、企業債利息等の減に伴う費用の減少により、10,876千円の純利益を見込んでおります。

【収益的収支】 (単位:千円[税抜])

	(TE-11)[M.M.]/						
	科目	R 1 当初予算	R 1 決算見込 (補正)	R 2 予算(案)	R 1 当初予算と R 2 予算との差額	増減率	
水	道事業収益	684, 109	675, 509	690, 411	6, 302	0. 92%	
	営業収益	596, 004	589, 685	605, 183	9, 179	1. 54%	
	うち給水収益	552, 360	545, 200	560, 930	8,570	1. 55%	
	営業外収益	86, 644	84, 292	84, 559	△ 2,085	△ 2.41%	
	特別利益	1, 461	1, 532	669	△ 792	△ 54.21%	
水	道事業費用	681, 857	658, 544	679, 535	△ 2,322	△ 0.34%	
	営業費用	624, 983	601, 933	626, 368	1,385	0. 22%	
	営業外費用	56, 873	56, 540	52, 702	△ 4,171	△ 7.33%	
	特別損失	1	71	465	464	46400.00%	
当	年度純損益	2, 252	16, 965	10,876	8,624	382. 95%	
前年	丰度繰越利益剰余金	38, 171	62, 025	78, 990	40,819	106. 94%	
当年	丰度未処分利益剰余金	40, 423	78, 990	89, 866	49, 443	122. 31%	





※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。 ※金額は消費税及び地方消費税を含みません。

# (2) 資本的収支

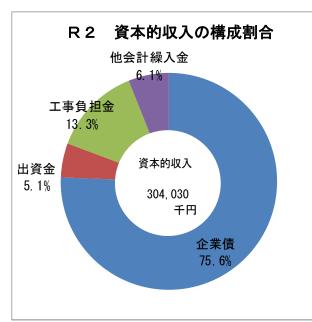
令和元年度の主な事業として、自衛隊名寄駐屯地への配水管布設のため配水管新設実施設計業務委託を行い、また、3ヵ年計画で行っている上水道事業固定資産整理業務委託が最終年度となります。老朽管更新事業については、平成26年度以降拡張事業費等ほかの事業との調整により圧縮しておりましたが、事業費を増加させ工事を進め、浄水場施設改修事業については老朽化に伴う計画的な改修を行っています。

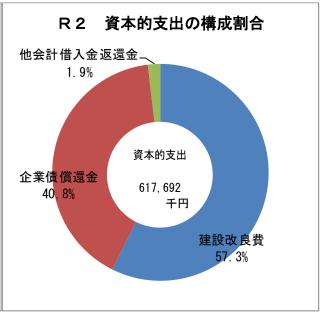
令和2年度の主な事業として、自衛隊名寄駐屯地への配水管新設整備工事、老朽管更新事業については拡張事業費等との調整により若干事業費を減少させ工事を進め、浄水場施設改修事業については老朽化に伴う計画的な改修を行います。収入については、事業費が減少した分については企業債が減少となっておりますが収支不足額は増えております。安全安心な水道サービスを提供するためにも、「施設・設備の老朽化対策」と「企業債の増加の抑制」を検討し、今後の収支計画を元に適正な受益者負担を考えていかなければなりません。

【資本的収支】 (単位:千円[稅込])

	211 HJ IN 🔨 🛽				(+ 14 ·	1 13 170 22 37
	科目	R 1 当初予算	R 1 決算見込 (補正)	R 2 予算(案)	R 1 当初予算と R 2 予算との差額	増減率
資	本的収入	330, 844	283, 287	304, 030	△ 26,814	△ 8.10%
	企業債	253, 200	209, 600	229, 800	△ 23, 400	△ 9.24%
	出資金	14,039	14, 038	15, 535	1, 496	10. 66%
	工事負担金	43, 837	40, 766	40, 286	△ 3,551	△ 8.10%
	他会計繰入金	19, 768	18, 883	18, 409	△ 1,359	△ 6.87%
資	本的支出	625, 157	574, 847	617, 692	△ 7, 465	△ 1.19%
	建設改良費	378, 474	328, 324	354, 231	△ 24, 243	△ 6.41%
	企業債償還金	235, 043	234, 883	251, 821	16, 778	7. 14%
	他会計借入金返還金	11,640	11,640	11,640	0	0.00%
資:	本的収支(不足額)	△ 294, 313	△ 291,560	△ 313,662	△ 19, 349	△ 6.57%

<sup>※</sup>資本的収入が資本的支出に不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保 資金及び当年度分損益勘定留保資金で補填。金額は消費税及び地方消費税を含む。





※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

# (3) 令和2年度の主な事業

#### 【主な事業】

- ◎上水道第2期拡張事業《企業債》 24,079 千円
  - 自衛隊名寄駐屯地への配水管布設を予定
- ◎配水管網整備事業《企業債》 19,800 千円
  - ・給水区域内配水管網整備工事 (φ50~φ100 L=800m)を予定
- ◎老朽管更新事業《企業債》 125,510 千円
  - ・国道 40 号 (16 線~18 線) 老朽管更新工事 (HPPE φ 100 L=900m) 他 3 工事を予定
- ◎浄水場施設改修事業《企業債 (一部)》 66,055 千円
  - ・真勲別頭首工ゲートワイヤーロープ更新工事他、緑丘浄水場 3 工事、瑞穂浄水場 1 工事、風連浄水場 3 工事、風連日進浄水場 2 工事、水源井改修 2 工事を予定
- ◎水質検査機器更新事業《企業債》 11,000 千円
  - ・ヘッドスペースガスクロマトグラフ質量分析計の更新を予定
- ◎水道量水器取替工事《工事負担金》 85,844 千円
  - ・名寄地区 1,500 台、風連地区 276 台、智恵文地区 25 台、風連日進地区 8 台の量水器 (水道メーター) 交換工事を予定 財源は下水道事業、個別排水事業から工事台数按分による工事負担金と自己 財源
- ◎固定資産整理業務委託(水道施設) 9,900 千円
  - ・ 水道施設台帳整備、固定資産台帳の整備等

資料2-2

# 下水道事業·個別排水事業経営状況 令和元年度予算進捗状況

# (1)下水道事業歳入・歳出

令和元年度における下水道事業特別会計の予算進捗状況(令和2年第1回定例会予算第2号補正) については、年度末における各費目の調整を行い、歳入・歳出ともに134,333千円減額の1,016,105千円を見込んでいます。

歳入 (単位:千円[税込])

科目	R 1 当初予算	R 1 決算見込 (補正)	R 2 予算(案)	差額	増減率
分担金及び負担金	160	2, 519	企業会計へ移行	_	—
使用料及び手数料	396, 113	396, 294		_	_
国庫支出金	111, 400	60, 739		_	_
繰入金	501, 355	466, 023		_	_
諸収入	1, 650	1, 630		_	_
市債	139, 700	88, 900	行	_	_
合計	1, 150, 378	1, 016, 105			

歳出 (単位:千円[税込])

科目	R 1 当初予算	R 1 決算見込 (補正)	R 2 予算(案)	差額	増減率
下水道事業費	616, 397	441, 653	へ企	_	_
公債費	524, 430	520, 901	企 へ 移 行 計		_
諸支出金	24, 300	22, 151	行計	<u> </u>	_
合計	1, 165, 127	984, 705			

### (2) 個別排水事業歳入・歳出

令和元年度における個別排水事業特別会計の予算進捗状況(令和2年第1回定例会予算第1号補正) については、年度末における各費目の調整を行い、歳入・歳出ともに3,084千円減額の87,208千円を見 込んでいます。

歳入 (単位:千円[税込])

	科目	R 1 当初予算	R 1 決算見込 (補正)	R 2 予算(案)	差額	増減率
2	分担金及び負担金	1, 750	1, 577	企 業	_	_
1	使用料及び手数料	18, 817	18, 743	業		_
Ĭ	繰入金	56, 391	51, 188	会計へ移	_	_
Ī	諸収入	1, 501	1, 500		_	_
Ī	市債	15, 700	14, 200	行	_	_
	合計	94, 159	87, 208			

歳出 (単位:千円「税込])

科目	R 1 当初予算	R 1 決算見込 (補正)	R 2 予算(案)	差額	増減率
個別排水事業費	58, 958	53, 463	へ企	_	_
公債費	35, 101	33, 707	企 へ 移 行 計		—
諸支出金	100	38	行計	_	_
合計	94, 159	87, 208			

# 下水道事業経営状況 令和2年度予算(案)概要

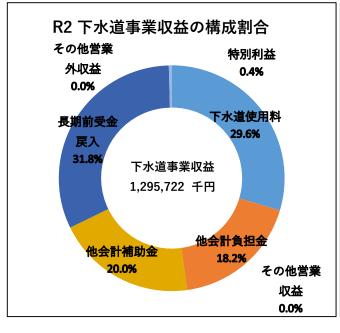
# (1) 収益的収支

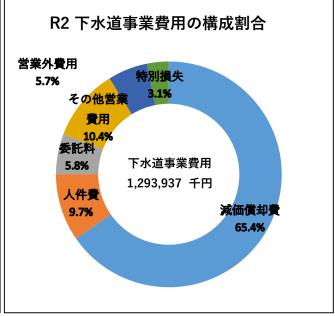
令和2年度から、これまで別の会計として運営してきた「下水道事業特別会計」、「個別排水処理施設整備事業」に、地方公営企業法を適用し、「下水道事業会計」として運営します。 予算編成が企業会計方式となり、減価償却費等の計上により、適正な期間損益計算ができるようになり、使用料原価の明確化が図られます。

企業会計化初年度については、企業会計化に伴う引当金等の特別損失の発生や使用料収入の減少を見込でいるものの、経常経費の節減に努めることとしたため、 1,785千円の当年度純利益が発生する見込みです。

【収益的収支】 (単位:千円[税抜])

	科目	R 1 当初予算	R 1 決算見込 (補正)	R 2 予算(案)	差額	増減率
下水道	<b>直事業収益</b>	_	—	1, 295, 722	—	_
	営業収益	_	_	619, 528	_	_
	うち下水道使用料			383, 608		_
	営業外収益	_	_	670, 983	_	_
	特別利益			5, 211		_
下水道	<b>直事業費用</b>	_	_	1, 293, 937	_	_
	営業費用			1, 180, 017	_	_
	営業外費用	_	_	73, 552	_	_
	特別損失	_	_	40, 368	_	
当年度	<b>E純利益</b>	_	_	1, 785	_	_





※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

※金額は消費税及び地方消費税を含みません。

# (2) 資本的収支

令和2年度の主な建設改良事業として、平成30年度に策定した下水道ストックマネジメント 計画に基づき、老朽化した下水道施設の改築更新を行います。大規模なものとして、2か年を かけて名寄下水終末処理場内No1雨水ポンプの更新工事を予定しています。

資本的収入については、建設改良事業の財源として企業債と国庫補助金を見込むほか、減価 償却費と企業債償還金の差額に対して発行できる資本費平準化債を起債する予定です。

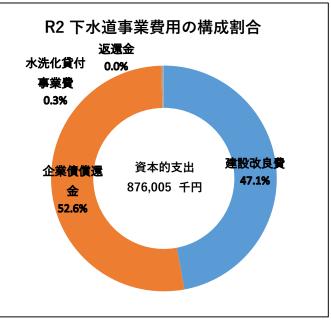
【資本的収支】 (単位:千円[税込])

			\ 1   <del></del>			
	科目	R 1 当初予算	R 1 決算見込 (補正)	R 2 予算(案)	差額	増減率
資本的	的収入	_	_	542, 317	_	_
	企業債		_	325, 100	_	_
	出資金		_	48, 452	_	_
	負担金及び交付金		_	2, 183	_	_
	他会計繰入金	_		82		_
	国庫補助金		_	163, 500	_	_
	水洗化貸付事業収入	_		3,000		_
資本的	<b></b> 支出	_	_	876, 005	_	_
	建設改良費	_		412, 352	_	_
	企業債償還金	_		460, 553		_
	水洗化貸付事業費	_		3,000	_	_
	返還金		_	100	_	_
資本的	り収支	_	_	△ 333, 688	_	_

※資本的収入が資本的支出に対し不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、引継金、引継貯蔵品

及び当年度分損益勘定留保資金で補填します。





※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

※金額は消費税及び地方消費税を含みます。

# (3) 令和2年度の主な建設改良事業

◎名寄下水終末処理場外改築更新工事 《国庫補助金·企業債》

平成30年度に策定した下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した下水処理施設 の改築更新事業を行います。

#### 【主な工事等】

・名寄下水終末処理場内排水ポンプ場No1雨水ポンプ設備更新工事 110,400千円【2か年工事】

・名寄下水終末処理場機械設備更新工事 130,000千円

・名寄下水終末処理場電気設備更新工事 10,000千円

·名寄下水終末処理場管理棟建築施設更新工事 29,000千円

・処理場及び管渠附帯工事 2,400千円 ※起債のみ

# ◎管渠等改築更新工事

≪国庫補助金・企業債≫

平成30年度に策定した下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した下水道管渠の 改築更新事業を行います。

#### 【主な工事等】

・名寄処理区下水道管渠更生工事 12,400千円

・名寄処理区下水道マンホール蓋更新工事 9,000千円

・公共桝設置工事4,400千円 ※一般財源のみ

・公共桝取付工事 630千円 ※一般財源のみ

・公共桝取替工事8,650千円 ※一般財源のみ

#### ※下水道ストックマネジメントとは

長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進展状況を考慮し、リスク評価等による優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕・改築を実施し、下水道施設全体を対象とした施設管理を最適化すること

※下水道事業の実施に当たっては国からの交付金等を活用しており、交付金の動向によっては、事業費の圧縮や未実施となることも考えられます。

### ◎合併浄化槽設置工事

≪企業債≫

水道処理区域外での生活雑排水等の処理を行うため、合併浄化槽の整備を行います。

#### 【主な工事等】

• 合併浄化槽設置工事

17,000千円